

企業を取り巻くリスクと 危機管理体制構築のポイント

Index

- 1 企業を取り巻くリスク
 - 2 危機管理体制整備のポイント
 - 3 BCP策定に関する情報源
-

1 企業を取り巻くリスク

1) 主なリスクの例

企業は、地震や台風などの自然災害、火災、サイバー犯罪など、さまざまなリスクにさらされています。2016年4月に発生した熊本地震などの自然災害や、食中毒などの食品関連事故が生じると、企業の生産設備や人材、取引先などに大きな損害が及びます。

また、企業を取り巻くリスクには、為替の変動、株主代表訴訟やPL（製造物責任）訴訟、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、労働災害、背任、横領、インサイダー取引などもあります。

こうしたリスクを回避あるいは最小化するためには、迅速な意思決定と事前の緊急対応体制の整備が不可欠です。また、マスコミ対応に失敗し、リスクを拡大してしまうことのないように社内体制を整備することも重要なポイントです。

企業を取り巻く主なリスクの例は次の通りです。

(図表1)【企業を取り巻く主なリスクの例】

社会リスク			災害・事故リスク	
政治	経済	社会	自然災害	事故
戦争、内乱 通商問題 税制改正 法令改正 規制緩和、規制強化	景気変動 株価・為替・金利・ 地価変動 エネルギー、原材料 の高騰	市場ニーズ変化 マスコミの批判 不買運動 消費者運動 反社会的勢力の活動	地震、津波 台風、豪雨、洪水 竜巻 噴火 伝染病	労働災害 交通事故 火災 サイバー犯罪 盗難
経営リスク				
製品	環境	人事・雇用	法務	財務
製造物責任 リコール 欠陥商品 著作権侵害 特許紛争 悪質なクレーマー	化学物質規制 土壌汚染 大気汚染 水質汚染 騒音、振動 廃棄物処理	差別、いじめ ハラスメント 労使紛争 自殺、過労死 人材流出	独占禁止法違反 会社法違反 金融商品取引法違反 株主代表訴訟 知的財産権侵害 契約不履行	敵対的な買収 不良債権 貸し倒れ 貸し渋り・貸しはがし
戦略	信用	その他		
情報技術革新 組織計画の失敗 資源配分の失敗 研究開発の失敗 設備投資の失敗 宣伝広告の失敗	個人情報漏洩 社内不正 スキャンダル 機密漏洩	取引先倒産 格付け下落 金融支援の停止		

(出所：日本情報マート作成)

企業の存続・成長を図るためには、企業を取り巻くさまざまなリスクに対して適切に対応していくための「危機管理」が必要です。

2) リスクの分類軸

企業を取り巻くリスクの内容は各事業によって異なります。また、同じ事業でも時期や外部環境などによってもリスクの内容は違ってきます。東京商工会議所の啓発パンフレット「事業継続計画BCPを作って信頼を高めよう」によると、企業を取り巻くリスクを分類するための視点として、次のものが挙げられています。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。